

警城時報

編輯部 石城郡平町新屋町十四
印刷部 石城郡平町新屋町十四
電話 四四四
代印部 石城郡平町新屋町十四
電話 四四四
廣告部 石城郡平町新屋町十四
電話 四四四
發行部 石城郡平町新屋町十四
電話 四四四
印刷部 石城郡平町新屋町十四
電話 四四四

縣社子歛倉神社々頭で 入營兵歡送會

奉告祭後送別會に移り 盛宴を開いて散會

平町に於ける本年度入營兵
大工町若松武、柳町田村詩郎
立町齋藤和助、四丁目阿部健
南町鈴木武男、一丁目肥田川
雄一、田町三浦富美男、五町
目酒井篤之助、立町橋本二郎、
同上船山太一、同上秋本秀雄
長橋町永山忠一、二丁目田巻
重三、鎌田町小野一、二丁目
田巻春造、紺屋町飯塚春雄、
大館松本二郎、鍛冶町岡部廣
白銀町北條新一、久保町小柳
勇、新川町菊地國次郎、長橋
町關内庄平、一丁目鳥海久助
鎌田町高田清二

町長と署長が協議 猶豫し得る規程はない 納入方督勵に決定

納税問題について

銀行の休業により年末を控へた筋に對して徴收の猶豫方を陳情
各納税組合關係者がひたすら開せんとするが如き氣勢にあるも
店の日の一日も速かならんこと
收税に對する徴收猶豫の特例
を祈念しつつあるが、今月が納
税は法第二十三條の所謂
期に相當してある營業収益税、
資本利子税、雑地租の内収益
税は平稅務署管内今期分の約一
萬八千六百圓中その一分の一以
上を占むる九千九百一圓八十
六錢はことごとく平町の營業者
に限り特に徴收を猶豫するの例
が負擔する事になつてゐるので
なるのみにてまた國稅徵收法第
七條の規定にも

再入札

炭界不況のため炭業稅滞納續出

自轉車を盗んで 賣り拂ふ男 泉驛前で捕はる

石城郡泉村駐在所に上調査が廿四
日夜七時頃泉驛前で自轉車を携
へた暴動不審の青年を認め誰何
すると逃走を企てたので連行植
田署で取調中此奴は石城郡内郷
村大字宮竹ノ内生れ目下住所不
定無職草野義一(二二)で前記自
定無職草野義一(二二)で前記自
定無職草野義一(二二)で前記自

酒を飲まないため 毆打されて負傷

永戸村大字合戸居住東白河郡飯
川村大字赤坂生れ木炭搬出業小
林喜代見(四三)長男一郎(二二)
次男常雄(二二)の三名は去る十
日午後五時頃小川郷に於て製炭
業草野彌平氏の奉祝會に呼ばれ
同僚三十余名と共に飲酒したが
同僚である鈴木善四郎(二四)が
酒が嫌ひで飲まぬのに憤慨し親
子三名で鈴木の歸途を待ちうけ
毆打した上麻縄で縛りあげ
「殺してしまふ」と言ひ乍ら
毆打全身に負傷せしめたので平
町署に告訴された。

自治會總會 入山炭礦

湯本町入山炭礦自治會の秋期總
會は廿六日午前八時から湯本町
三函座に開き三、四年度の決算
豫算を附議し閉會後慰勞會に移
り東京一流落語家の話があつた

養蠶組合で 害虫驅除

石城郡養蠶同業組合では害虫驅
除並に蠶業の改善に就て目下種
種考究中であつたが桑園の害虫
驅除は最も先決問題として日割
を作り郡下各町村全部の害虫驅
除を行ふことになつたが同時に
農閑期の適當な時期を選定して
活動寫眞と講演を以て各町村
部落を巡回する方針である。

山本代議士 湯本で演説

新勞農黨組織準備會平支部主催
の演説會は廿七日午後五時から
湯本町湯本座に開催の等で辯上
は代議士山本宣治外數名である

警炭役員野球 内郷

村警炭礦野球部主催御大典奉
祝第一回役員野球大會は十二月
三日、三日高坂グラウンドで舉行
する。

自動車取締違反 四

倉町宇仲町貨物自動車部新妻寅
吉(四二)はフォード自動車乙
種免許証を持つてゐる者である
が二十七日午前六時半頃シボル
レ自動車運轉したので平署に
檢舉された。

坑夫の惡事 警崎村小

野田炭礦坑夫長屋居住橋本捨次
野田(二七)は去る二十五日午後四時
同坑佐藤武方から五圓余のメリ
ンス反物を窃取した事發覺し平
署に捕はれた。

自治會總會 入山炭礦

湯本町入山炭礦自治會の秋期總
會は廿六日午前八時から湯本町
三函座に開き三、四年度の決算
豫算を附議し閉會後慰勞會に移
り東京一流落語家の話があつた

理想的な 自動車協會

石城郡小名濱町貨物自動車營業
者は相互の競争を全廢しこの程
小名濱自動車協會を組織したが
同協會は同業親善を目的とし運
賃の協定をなす外委託貨物の共
同運搬を始めその他事故等の場
合は一切それを協會に委任する
事に捕はれた。

自動車 幼児を轢く

平町鈴木自動車部の江名、平間
乗合自動車第五九五號を安澤清
が運轉し廿五日午後三時十分頃
江名町を通行中道路で遊戯中で
あつた同町字北町國司三男小川
俊雄(七ツ)を轢き負傷せしめた

手附金横領 湯本町三

國遊部萬玉樓白鳥みよしは二十
五日好間村大字上好間馬場西松
を相手取り詐欺の告訴をなした
が、理由は手附金三百圓を受取
り乍ら娼妓の周旋をしないため
である。

留守宅で泥棒 栃木

縣那須郡野崎村生れ當時野崎村
警城炭礦舟山岸次郎方居住坑夫
舟山榮吉(三)は去る十一月八
日午後九時頃同坑倉橋嘉久雄方
留守宅に忍び入りメリンス反物
價格五圓を盗取した事發覺二十
四日平署に捕はれた。

近 詠

詩南車から
高久 晚霞
かきひきてしばし休みし牛乳
のかほりよろしもパン食みに
つゝ
平産の思得得たる四季咲き
のつづじかそけく春の香を立
つる
昨はまで朝日に映えし向ふ峯
の林は秋の風に疲るゝ
庭隅に攪むユスモスにたより
つゝたゞ一もこの朝顔咲けり
窓を打つ嵐に夢の跡かならず
寝られぬ夜半を歎案じけり
學校へ出て行く子等のさゞめ
きをうつろに開きて再び寝ぬ

預金の賣買を致します

賣買の手續は無料で致します

平町 仲田 町

ト 駒場株式会社

電話四六五番

電の大賣出し

曠古の御大禮も滞り無く終らせられました。國民として
此の上の喜びはございません。弊店は此の御目出度い御
大典を記念し奉り平素の御高恩に報ゆる爲め

本日より記念大賣出し

十一月十日迄
上等九帯 十圓以上 レーヨン江戸襦 十二三圓
上等江戸襦 廿圓以上 本場 銘仙 五圓五十錢
モス着尺 四圓五十錢 正絹 縞 一圓ヨリ
上等裏地 八十錢 キヤラニ裏地 一圓二十錢
富士絹友仙(尺) 卅五錢ヨリ 友仙モス(尺) 十五錢
◎足袋藏拂ひ◎
平町三丁目
電話六十七番

中野吳服店

産 婆

自宅に於て妊産婦を
お取扱ひ致します

草野静枝

平町研町九番地(公園下)
電話(呼出)四四三番

盛美酒眺月



平町四丁目平驛通
電話二〇七番

平町紺屋町
吉田眼科
電話六八番

驚いた!!!
平町加納活版所の印刷物

古流盛花教授 松盛齋 吉田理秀
折入 (毎週日曜)
平町大町若松病院向いづみや方
有山旭千師直門
筑前琵琶教授 吉田旭良
平町大町若松病院向いづみや方

寒サ愈々迫ル

皆サノ御希望スル新柄防寒具各種入荷
子 供 洋 服 子 供 毛 織
婦 人 シ ョ ー ル 婦 人 毛 シ ョ ヲ ヲ
毛 ア ン タ ー コ ッ ト シ ョ ヲ ヲ
密閉均一の特價ワイシャツ 賣切レス中ニ

平町ツルヤ商店
電話四十四番

無煙無臭デ火付ガ早ク、火持チ良ク、火力ガ強ク、日常
ノにやきニハコナ便利ナ品ハアリマセン。
ソレデ値段ハ大變オ安ク、木炭ノ三分ノ一デ充分間ニ合
ヒマス。
◎ドンナニ喰はずきらいノ人デモ一度使へバ必ず御氣ニ召
ス。ガ此ノ玉炭ノ特長デス。
◎値段ハ寄箱金貳圓 個數ハ約八百個内外
◎御申越次第見本持參御覽ニ供シマスカラ御申越下サイ

平町前
電話三三七
阿部石炭商店

新築移轉御披露

(平町南町)
(舊診療所向ひ)

耳鼻咽喉科 専門

大和田 耳鼻咽喉科 醫院
備完室病
りあ便の炊自

外科 専門

花柳病科 専門

平町六丁目橋際
木村外科醫院
電話三〇九番

一葉印刷所

平町字仲町
電話七三四番

鎮咳液

セキの薬
特約内藥局
平町四丁目電話〇四番